

## 第 65 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会実行委員会議事録

日 時：令和 5 年 10 月 28 日（土） 17：00～18：00

場 所：恵庭市民会館 1 階 第 1 会議室

出席者：別添名簿のとおり

### 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ（菅野課長、文化庁 山中調査官）
- 3 出席者自己紹介
- 4 協議
- 5 閉会

### 1 開会

（清水補佐）

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

ただいまから、第 65 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会実行委員会を開催いたします。

### 2 あいさつ

（清水補佐）

開催にあたりまして、菅野実行委員会事務局長より挨拶いたします。

（菅野課長）

皆さんこんばんは。実行委員会事務局長、北海道教育委員会文化財博物館課長もしております菅野と申します。

改めまして皆さん遠いところお越しいただきましてありがとうございます。

本日、文化庁文化財第一課の山中千紗子調査官にもお越しいただいております。

誠にありがとうございます。

この北海道・東北ブロック民俗芸能大会は、北海道・東北地区に伝承されております民俗芸能を多くの方にご覧いただくということとともに、無形民俗文化財の保護伝承、地域振興や地域づくりにも寄与することを目的として、毎年開催されているものです。

北海道では平成 26 年の小樽市以内の 9 年ぶりということで、本当に心待ちにしておりました。

これまで、前年度開催県の青森県さんに色々ご助言いただきながら、開催の準備を進めてきたところですので、明日、多くの方々が来ることを心待ちにしている次第であります。

また、ここ数年は新型コロナウイルス感染症の流行ということで、団体の方にとっては日々の活動もご苦労されてきたのではないかと思います。そういった苦労をはねのけて、明日は是非多くの観客の前でご披露いただければと願っております。

大会運営にいろいろと皆さんのご協力も賜りながら、より良い大会となりますよう祈念申し上げます。簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくいたします。

（清水補佐）

続きまして、本日は、文化庁文化財第一課芸能部門から山中調査官にお越しいただいております。ご挨拶をお願いいたします。

(山中調査官)

皆様こんばんは、文化庁文化財第一課芸能部門の山中でございます。いよいよ明日が本番となりまして、本日までご準備くださいました北海道教育庁の皆様、そして実行委員会委員の皆様、あと開催地になります恵庭市の皆様、本当に、本日までご準備いただきましてありがとうございます。この民俗大会は、昭和34年に第1回が始まりまして、今回は第65回というように、長きにわたり回数を重ねております。

けれども、近年は、コロナの影響で北海道・東北ブロックに限らずですが、延期や中止といったことが続いておりました。昨年度、ようやく全てのブロックが開催されることになりましたが、これも感染対策を設けた上で、という条件付きでありました。今年度は、全てのブロックで縛りがなく、通常通りの形で開催されると各大会の担当調査官から聞いております。

本当にこれまでご準備いただいて、大変なところだったと思いますけれども、本日よりリハーサルを拝見しますと、本当に皆さん緊張しつつも、非常に熱い思いがあるのだなどと感じます。

この大会を機に、活動を再開したという団体さんもあると伺っておりますので、本当にこの民俗芸能大会が回数を重ねているということが貴重で大切なものであると思っております。

明日の大会に向けて、引き続き皆様のご理解、ご協力の程をよろしく願いいたします。

以上でございます。

### 3 出席者自己紹介

(清水補佐)

次に出席者の自己紹介をお願いしたいと思います。本日お配りしている資料の3枚目に出席者名簿がございます。この順で自己紹介をお願いしたいと思いますので、まずは青森県さんからお願いいたします。

(以下、各県挨拶)

なお、青森県教育委員会の文化財課長の坂本委員、青森県文化財保護審議会の山田委員は都合により欠席させていただいておりますことをご報告いたします。

続きまして協議に移りますが、議長につきましては、実行委員会の皆様から事前に承認をいただいております、本大会実行委員会規約第8条第4項によりまして、事務局長が議長を務めますので、以後の進行は菅野事務局長をお願いいたします。

### 4 協議

(議長)

それでは協議を始めたいと思います。開会日程と運営に関しまして、事務局からご説明いたします。

(菊地主査)

座って説明させていただきます。まず、資料4のタイムテーブル上欄のリハーサルについてですが、本日無事に終了しております。

続きまして、明日の本番ですが、開場は8時からとなっております。

8時からこの市民会館を借りておりますので、これよりも早く来られても、大ホールですとか控室の鍵は開いておりませんので、あまり早く来すぎることはないようご注意願います。

なお、大ホールの入口が開くのが9時、お客様も入場されますが、幕を降ろしたままで舞台上で開会式のリハーサルを9時15分から行います。ここにいらっしゃる実行委員の方々は、15分までに大ホール舞台上に向かっていただくようお願いいたします。

次に、9時30分から開会式を始めます。この開会式の詳細は、後ほど資料5で説明させて

いただきます。開会式が終わりましたら、10時から公演が始まり、順番は福島県さん、青森県さん、山形県さん、秋田県さん、宮城県さん、岩手県さん、最後に北海道二つになっております。

次に資料5の開会式についてですが、と9時15分に来ていただいて、リハーサルの大まかな流れを委託業者である、北海道博報堂の方から説明をしていただきます。大体流れをわかっていただいた上で、9時20分には、席に座っていただいて、9時25分に開会のアナウンス、9時30分から開会式となります。

最初に、北海道の教育長である実行委員会委員長の倉本から挨拶し、次に開催地である恵庭市長様からの歓迎の挨拶、そのあとに、実行委員会の皆様の紹介ということで、皆様のお名前は出させていただきます。アナウンス後その場で起立し、観客の皆様には礼をしていただければと思います。そして続きまして、感謝状の贈呈になります。これは各団体の代表者、一名に登壇いただいているので、実行委員長から直接手渡していただく形になります。今年にしましては、個人表彰の該当者ありませんので、出演団体への感謝状の贈呈のみとなっております。

そして最後に、今回の第66回の開催地は宮城県の予定でありますので、高橋課長にご挨拶していただければと思いますので、よろしく申し上げます。

資料4と5については以上です。

(議長)

今の説明に関しまして、ご意見ご質問等ございますか。

(高橋課長)

当日、開会式等の導線の動きはリハーサルで、ということでよろしいでしょうか。

(菊地主査)

はい、そうです。

(菅野課長)

その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、大会表彰に関しまして、資料6の「表彰規定」、資料7-1から7-3の個人表彰推薦調書について説明いたします。

(菊地主査)

それでは、私の方からご説明させていただきます。

先ほども申し上げましたとおり、今年度に関しては個人への感謝状の贈呈は該当者おりませんでした。この該当者というのが、第1条にありますとおり、各道県の文化財保護審議会委員で、多年にわたり実行委員として尽力し、各道県の文化財保護審議会委員を退任した個人に対して感謝状を贈呈することとなっております。「多年にわたり」の部分については、第1条の3で多年とは概ね8年以上とされています。

今年度に関してはこの8年以上に該当し、かつ、退任した方つまり現職ではない方がいらっしゃらなかったということで、去年の青森県大会では3名の方が表彰されましたが、今回北海道大会では、該当者なしとなりました。

そして、第5条の部分で、出演した芸能団体に感謝状及びペナントを贈呈することとなっておりますが、明日の開会式では、その場でお渡しするのは感謝状のみとさせていただきます。

ペナントはちょっとかさばりますので、開会式終了後、私の方から直接団体の代表者様にお渡しする形をとらせていただきますので、ご了承いただければと思います。以上です。

(議長)

今の説明に関しましてなにかご意見ご質問等ありますでしょうか。

では次に、次期大会の開催の件に関しまして資料7でこれまでの開催道県をまとめております。ローテーションのとおりでいきますと、次期開催県は宮城県さんということになりますが、よろしいでしょうか。それで承認いただいたということで、宮城県を代表しまして高橋委員から一言でいただければと思います。

(高橋委員)

来年度66回開催県ということで、よろしく願いいたします。来年は令和6年10月27日に多賀城市文化センターでの開催を予定しております。

それに向けて、まずは明日の大会で勉強させていただいき、その後準備していきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。はい。以上になります。

(議長)

色々ご質問、ご意見等あると思いますが、時間の関係から、あとは個別に、あるいは事務局を通して照会していただく形にさせていただきたいと思います。

それでは進行を事務局に戻します。

## 5, 閉会

(清水補佐)

それでは以上をもちまして、実行大会の実行委員会の方を閉会いたします。

皆さんお疲れ様でした。